

農地復旧の進捗に合わせて、集落座談会を重ね作成した人・農地プラン

はちのへ いちかわ

(青森県八戸市市川地域(H24.8作成、H27.5見直し))

《概要・データ》

地域の特徴	土地利用型農業（主食用米＋転作作物）を中心に園芸作物、畜産などが混在する地域。地域内農地面積は747ha、うち水田は586ha、畑が161ha。
中心経営体	個別経営34名、法人経営1、集落営農組織1
出し手となる農業者	1名《提供農地面積0.3ha》
農地集積	現状(H24)107ha(集積率14.3%)→目標(H28)118ha(集積率15.8%)

《特徴的な取組》

- 津波による被害を受けた地域であったが、農地復旧の進捗に伴い、単一の農業経営ではなく、水稻、イチゴ、大豆を中心とした複合経営を行い、地域農業を維持していくこととした。
- 水稻については高齢化により離農する者がみられることから、当該農地の利用について検討していくこととした。(地域内農家約400名の中から36の中心経営体を決定)

《プラン作成・見直しの経緯》

- 平成23年12月の農業経営者向け広報誌及び平成24年3月の市広報誌において人・農地プラン関連施策を周知。
- 平成24年3月から7月まで他地区に先行して集落座談会を計6回開催。
- 平成24年7月に検討会を開催し、8月にプランを決定。
- 平成25年3月、6月、12月にプランを見直し。
- 平成27年2月、5月にプランを見直し。



上:復旧したハウス
下:復旧したハウスのイチゴ栽培の様子

(八戸市位置図)

